

それぞれの地域らしい空間資源の使い方で地域の課題解決を図り、まちに多様なアクティビティが広がるまちづくりが進んでいる。

キーワード

## ① 地域独自の課題を発見し解決する



経済、社会、歴史、文化など様々な要素を読み解きながら、地域の課題を発見し、それぞれのエリアにあわせて解決

キーワード

## ② 公民にかかわらず、まちの空間資源をつかいこなす



公共空間、空きビルや空き家、空地等の遊休化・余剰化している空間資源を積極的に発掘し、地域と時代のニーズに対応したコンテンツ（機能）へと転換、再生、活用

キーワード

## ③ 人間中心の視点で居心地よい環境をつくる



人がつどい、様々なアクティビティがうまれるように作り手ではなく使い手の視点で、人間の身体感覚にあった居心地よい環境を形成

- 名古屋市錦2丁目地区は、平成27年には名古屋市が公募した「低炭素モデル地区事業」の認定を受け、2030年までに地区内のCO2の排出を31%削減する目標を設定し、公共空間の活用、自然エネルギーの利活用、都市の木質化等の取り組みを実施している。
- 地縁組織や行政、エリア内外の企業や個人事業主等、大学や非営利組織など様々な主体が関わるエリアプラットフォームを立ち上げ、低炭素に向けた取り組みなど、実証実験、社会実装に向けた各種取り組みを推進。



## 環境負荷の低い建築物



地区内のORE錦2丁目ビルは、BEMSによる効率的なエネルギー管理やカーシェアリングサービスの導入などが評価され、DBJグリーンビルディング認証(4つ星)を取得(2014年)。

## 木材活用によるウォークブル空間創出



地域近郊で産出された間伐材を活用したベンチや歩行空間の創出。設営には地域の事業経営者や大学等の関係者が参加。愛・地球博やあいちトリエンナーレとも連携した。

## イベントや学習を通じた住民の行動変容



エリアマネジメントの一環としてのSDGsマルシェの開催、愛知県環境塾と連携した公開アカデミーの開催

## 自然エネルギー利活用



太陽光発電の導入の検討、「スマートコミュニティ構想」等に基づく施策展開の検討

## 目標設定

2030年までにCO2の排出を25%削減する目標を設定

(イメージ)

- 日本を代表するビジネス街である大丸有地区では、近年エリマネ活動として健康づくりに関わる多様な試みが行われている。
- ビジネス街で健康づくりに取り組むことは、健康で健全な職場環境の向上を通じてエリア内企業の生産性を上げ、日本経済の効率を高めることに貢献。

## 健康づくりイベントの開催

### 丸の内ラジオ体操



### 仲通り綱引き大会



健康イベント開催場所(仲通り)

## 健康モニタリングのアプリ



運動・食事・睡眠など、健康につながる行動をモニタリング



アプリの連携イベント実施や  
カフェでの特別メニューの提供

- 愛知県豊田市では、あまり使われることのなかった駅前広場について、人々が自由に利用できる空間へとリノベーションし、人々の活動の場へと転換
- また、市民が積極的に整備・活用に参画し、自らの「自由と責任」のもとで利用できる場とすることで、様々な活動が繰り広げられる場に。



○管理者の異なる官民の空間をイベントやくつろぎの場として開放し、一体的に活用する「あそべるとよたプロジェクト」を実施

○官民の管理者等が構成員となった「あそべるとよた推進協議会」が、豊田市駅周辺の7つの公共的空間のワンストップ窓口となり、公共的空間の占用許可等手続きを担う

公共空間活用件数の増加  
 H27: 58件 → H30: 168件



	広場名	管理者	広場名	管理者
民	①シティプラザ	豊田まちづくり(株)	民	⑤参考館前広場 豊田市駅前開発(株)
官	②ペDESTリアンデッキ広場	都市整備課	民	⑥コモ・スクエアイベント広場 豊田市駅前取り南開発(株)
官	③豊田市駅西口デッキ下	土木管理課	民	③KITARA前広場
民	④ギャザ南広場	豊田市駅東開発(株)	官	●新とよパーク 土木管理課

新とよパーク以外も含め、官・民のまちなか広場を積極的に開放

- 福岡県北九州市では、都心部の遊休不動産をリノベーションの手法を用いて再生することで、産業振興、雇用創出、エリアの価値の向上を図っている。
- 多様な都市型ビジネスの集積と街の賑わいづくりを一体化して、地域のコミュニティを再生し、補助金に依存しない自律的な事業展開を推進

## 地域が抱える課題

商店街の空き店舗の増加や就業人口の減少、施設の老朽化等により、にぎわいや活力が減少

## 地域のニーズ

空き店舗の有効活用による、商店街のにぎわい再生

H23年2月 官民が連携して「小倉家守構想」を策定  
→ 11月 リノベーションスクールを初開催

## 家守構想とリノベーションスクール

- **家守構想**：遊休不動産を利活用し、起業家や個人事業者を呼び込むことで、その地域に必要な産業を生み出し、まちを活性化していく構想
- **リノベーションスクール**：家守構想実現のエンジンとなる、実在の遊休不動産を事業化させるための専門家を交えた実践型ワークショップ。卒業生が各地でリノベーションまちづくりを実践中

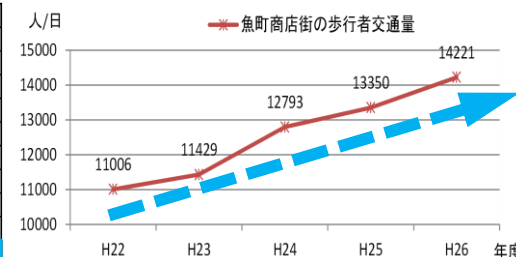
## 小倉魚町商店街（福岡県北九州市）



■ **315件の創業、704人**  
の雇用を創出

施設・テナント名	開業日	創業・雇用者数
メルカート三番街	平成23年6月	38人
フォルム三番街	平成23年6月	16人
ポポラート三番街	平成24年4月	73人
MIKAGE 1881	平成24年10月	40人
ピッコロ三番街	平成26年6月	51人
アタゴアパートメント	平成23年7月	15人
中屋興産(自由市他)		71人
まちづくり会社・家守事業者		69人
その他		331人
合計		704人

■ **4年間で約3000人/日**  
の歩行者が増加



## リノベーションまちづくりの全国展開（リノベーションスクール事業）

- この取組みを全国に水平展開すべく、民間事業者が各地でスクールを開催
- 85都市・地域で実施  
5,419名が卒業（R3年3月現在）

